

学会参加報告（例）：第42回日本臨床外科学会

1年目研修医 河内礼二 (Kochi Resi)

【学会の紹介】

この学会は、外科の臨床現場で遭遇する様々な疾患に対して工夫をしながら対処した経験を持ち寄り、情報交換するとともに、未解決の問題に対して問題意識を共有することに力を入れている学会です。消化器外科の話題が多い中で、広く外科系全般の演題も多い学会で、自分の知識の裾野を広げるのにもってこいの学会と思い、参加しました。

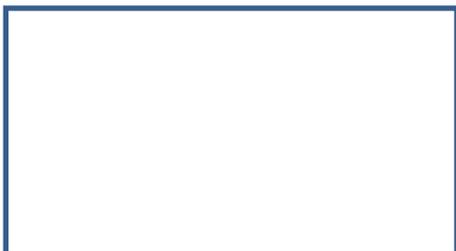
【発表してきた！】

歴史ある学会で、しかも全国学会という舞台上で発表する機会をいただきました。消化器外科を研修中のときに経験した症例です。概略を少しだけ紹介します。

○症例の概要



ちなみに、発表しているときの様子です。多少顔がひきつっていますが、何とか最後まで発表できました。



○質疑応答

発表に対して、2つ質問が来ました。一つは、内容の詳細なところについての質問で、楽々答えることができましたが、2つめは施設の方針についての質問でした。オーブンの〇〇先生がすかさず「共同演者の〇〇です」と立ち上がり答えてくださいました。私はとにかく『スマイル』でもちこたえしました。

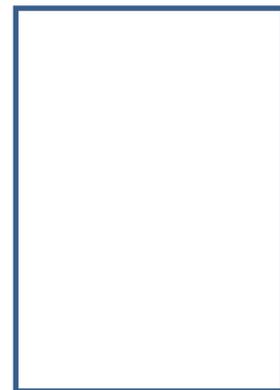
発表後に司会の△△先生から「いい発表でしたね。」と声をかけていただきました。

【勉強してきた！】

肝臓外科のセッションがおもしろそうで、聴いてきました。〇〇大学から肝切除の術中画像診断としてICGを使った術中造影の発表がありました。肝予備能評価の色素が、近赤外線造影剤に早変わりするのも意外でしたが、画像の鮮明さに圧倒されました。そして、他の分野でもいろいろ使い道がありそうだ、という予感を感じました。

【オフ・ミーティング】

この学会が開催された〇〇市は、日本酒のメッカの一つであり、また海産物でも有名です。もちろんこの機会は逃しません。頭と体を使った後は、内臓を使う番です。



〇〇県で研修している同級生の□□君と合流して、夕食を楽しみ、研修の情報交換をしました。彼の施設ではおもしろい試みをしているようなので、高知に帰ってから、早速センター長に教えてあげようと思います。